

市川市議会では、年4回の各定例会で、交渉会派（所属議員3人以上の会派）ごとに市長提出議案等その他市政全般について問う代表質問を行います。6・9・12月定例会における各会派の発言時間は、原則3日間の総会議時間を、会派数及び会派の所属人数に応じて割り振って決定します。質問は総括質問者が行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、会派が指定した項目の質問・答弁を要約して掲載しました。
※12月定例会の代表質問は11月25日に通告を締め切り、11月29日から3日間の日程で行いました。

代表質問

創生市川



小泉 文人

ほとだゆうな

国松ひろき

大久保たかし

石原たかゆき

石原みさ子

稲葉 健二

竹内 清海

加藤 武央

岩井 清郎

〔総括質問者〕



国府台スタジアム（完成イメージ図）

国府台公園 野球場の名称

問 令和7年完成予定の国府台公園野球場について、市はネーミングライツ制度の導入を見送ったとのことである。本制度は、施設の命名権を有料で付与するだけで、施設使用等に関する権限は発生しないため、市

側にはメリットはあるものの、デメリットはないと思うが、導入を見送ったことについて、市の見解を問う。また、仮に本制度が実施された場合、5000万から1000万円で応募することを考えていた市内企業もあると思うが、このような企業に対して、市はどう対応するのか。

答 ネーミングライツ制度は、民間企業等に命名権を

妙典野球場 の人工芝化

問 妙典地区に少年野球場が整備されたことや、令和6年9月15日に行われた少年野球大会「JAいちかわ旗争奪戦」の決勝戦を市長が観戦しに来たことは、関係者一同感謝しているが、決勝戦の最中、砂ぼこりによる中断が何度も発生した。本野球場における砂ぼこり対策を早急に講じるべきと考えるが、市の見解を問う。

答 本野球場の砂ぼこりは、開設当時から周辺住民等の迷惑事として課題となっており、これまでも利用の多い時にはスプリンクラーを稼働し、大会等の利用時には関係者による散水等で砂ぼこり対策を講じてきたが、砂ぼこりにより試合が中断する事態もあった。そのため、6年12月定例会で、ファールグラウンドの人工芝化に係る補正予算を計上している。人工芝を施工する範囲は、少年野球連盟から使用する年齢層によって畧間に違いがあるため内野部分は人工芝化しない方がよい等の意見もあったことから、ファールグラウンドを

P F A S の 不安への対応

譲渡する代わりに安定した契約料を得ることができるため、財政上有効な手段と考えるが、施設名称に企業名を冠することで、企業が所有する施設と誤認される恐れがあることがデメリットと考えている。国府台という名称を守り、広く周知していきたいという思いから、本制度の導入を見送ることとしたが、正式な決定までに時間を要したことで迷惑をかけたと思っている。

問 有機フッ素化合物（PFAS）は、幅広い製品の高性能化に役立っている一方、人体や環境に対する有害性が指摘されている。海上自衛隊下総航空基地周辺に位置する、鎌ヶ谷市軽井沢地区の井戸水から暫定指針値以上のPFASが検出されたが、陸上自衛隊松戸駐屯地周辺の大町地区の井戸水等について、地下水調査を実施しているのか。

答 本市では、令和3年度よりPFAS成分であるPFOS及びPFOAについて地下水調査を実施してきた。これまで、大町地区を含む市内4地点で調査を実施し、PFOS及びPFOAの暫定指針値を超過した地点はない。しかし、昨今の報道で不安を感じる市民もいることから、市内の調査を継続するとともに、近隣市の状況確認を行い、市公式ウェブサイトなどを通じてPFASに関する情報などを発信していく。

姥山貝塚公園 の駐車場整備

問 姥山貝塚から出土した縄文時代の5体の人骨について、「姥山貝塚の5体の人骨の謎に迫る」と題したシンポジウムがメディアパーク市川で開催され、参加希望者が400人以上も集まった。関心の高まっている姥山貝塚だが、現地には駐車場がない状況である。来園者の駐車場を整備すべきと考えるが、市の見解

を問う。また、同公園の隣接地に自治会館を建設し、姥山貝塚関連の記念コーナを整備することは可能か。

答 現在、姥山貝塚公園には駐車場がなく、利用者による路上駐車があることも認識しており、駐車場の必要性について引き続き検討していきたいと考えている。また、仮に自治会館ができ、そこに姥山貝塚関連の記念コーナを整備する場合は、考古博物館に収蔵している姥山貝塚の出土品を貸し出すことは可能であるが、出土品を展示する際には、建物の機械設備など、施設の管理体制等が必要となる。

無償契約 の更新

問 柏井少年広場の約7000坪の土地は、7名の土地所有者から40年以上の間、市が無償で借用しているが、所有者の死亡により、令和6年4月から契約の更新ができていない状況である。過去の定例会で何度も、市が当該土地を買い取ること

船橋法典駅 北側改札口

問 15年ほど前、東日本旅客鉄道株式会社に対し、船橋法典駅の北側に改札口を設置するよう要望したが、柏井町地区は居住者数が少ないとのことで断られた経緯がある。しかし、現在は

を要望してきたが、ついに契約の更新ができないという問題が起きてしまった。そこで、当該土地の今後の活用方法について問う。

答 土地所有者から、当該土地の買収等に関する要望は受けているが、当該地区に公園や道路整備などの計画の予定がないことから、要望に応えることはできない状況である。土地所有者から返還の請求があれば、所有者の意向を尊重し、返還せざるを得ないと考えており、その場合は広場の一部が使用できなくなることも想定される。市としては、これまでと同様に、少年広場として貸してもらえよう、協議を継続していく。

日本共産党



〔総括質問者〕

清水みな子

とくたけ純平

やなぎ美智子

廣田 徳子

被爆樹木の 植樹

問 令和6年11月、本市の

核兵器廃絶平和都市宣言40周年を記念して、被爆樹木であるアオギリ2世の植樹と核兵器廃絶平和都市宣言の全文を記載した記念プレ

1300戸以上の宅地開発が行われるなど、居住人口の増加が見込まれている。このように、居住人口の増加が見込まれる同地区の利便性向上のため、改めて船橋法典駅北側に改札口を整備する必要があると考えるが、市の見解を問う。

答 船橋法典駅北側に改札口が設置されれば、市民の利便性が向上することが見込まれるが、設置するには鉄道敷地内に新たな工作物や建築物の築造が必要になるなどの課題もある。また、同駅は船橋市に所在していることから、船橋市と調整を図る必要がある。今後の同地区の状況を注視し、必要に応じて鉄道事業者への申し入れを検討していく。



植樹されたアオギリ2世とその隣に設置された記念プレート

ートの除幕を行う式典が大洲防災公園で開催された。この式典には小学6年生の児童が参加し、宣言文の朗読などを行ったが、参加の経緯を問う。また、今後、行徳地域など市内の他の地域にある公園で、同様に植樹を実施する考えはあるか。

答 小学6年生の児童が参加した経緯としては、本市の核兵器廃絶平和都市宣言について、若い世代を中心とした市民に知ってもらい、平和の大切さを次世代に継承することを目的としていることから、大洲小学校に協力を依頼し、平和学習が行われている6年生の全クラスの児童に参加してもらったものである。市内の他の地域にある公園での植樹については、今回植樹した樹木が大きく成長し、目的に沿った効果を得られるかを確認した上で、